



# Zeppin Ringyo *Shop#2*

扱うのは極上のコンディションのバイクだけ

ショップの前に並ぶのは程度良好なZたちだが、扱っているのは旧車だけではない  
「この世にふたつとないものだけを扱う」というのがゼッピンリングョウのコンセプトだ

PHOTOS&TEXT/T.YAMASHITA

CB750やCBX、カワサキZ1、ベネリ・750  
セイが並ぶ店内はアンティーク調で、旧車た  
ちとの調和が美しい。カウンターテーブルに  
並ぶチェアやその傍らのテーブルは1920年  
代あたりのものというから、それも当然だ。

ゼッピンリングョウへ足を踏み入れて、ま  
ず気づくのは展示されている車両がどれもす  
ばらしく状態がいい、ということだ。Zなら  
ば、CBならば何でもいい、というのではなく、  
極上のコンディションであったり、車台番号  
が若いレアな車両であったり、存在すら貴重  
な車両であったりという“価値ある車両”を  
扱っている。すなわち絶品である。

そもそも状態のいい車両だけを仕入れてく  
るのは当然だが、腕のいいメカニックによる  
整備・調律なくして旧車は再生しない。



内田淳也店長(左)と濱田義孝工場長(右)の二人で分解整備から調律まで行う。経験豊富であることは当然、エンジンとバイクへの情熱を持つ職人だ

ゼッピンリングョウでは知識、技術、経験  
どれも長年にわたって積み重ねてきた、いわ  
ば職人といえるメカニックが、整備と調律を  
行っている。しかもエンジンのオーバーホー  
ルから塗装までの作業を外注に出さず、同店  
で行う。だから作業をすべて把握しているし、  
個体のクセまで知り尽くして調律するからこ  
そ、世界に2台とない良好な車両となるのだ。  
もちろん同店は認証工場であり、メカニック  
は有資格者である。

一生保有できる車両が欲しいなら、まずは  
ゼッピンリングョウに相談してみることが、  
いい車両に巡り会うための最善策だろう。



展示される車両は、どれも極上コンディションで、珍しい個体も並ぶ。さながら小さなミュージアムといったムードを醸し出している。また、タンクやシートなど精度がよく貴重なパーツ類も多く展示されている

## 走行距離500kmのベネリ750Sei

アメリカのエンスージャストが所有していたベネリ・セイは、おそらく世界でこの一台と思われるほど極上で、ほぼ新車。もちろん実働。まさしく絶品。これを見るだけでも訪問の価値がある!



## Aのパーツが装着されたZ1B

車台番号ではBに分類されるZ1だが、一部にAのパーツが装着されている貴重な車体。アメリカ工場で生産開始直後のもので、明石から運ばれたパーツが使われたZ1Bだ。価格268万円



人気のZ1/Z1Bの扱いも多く、状態のいい車両が多く並ぶ。ショップ以外にも空調完備の倉庫には数十台の在庫車両を保管



タンクやメーターなどパーツ単位でも数多くを在庫。すべてが売り物ではないそうだが、コロナのタンクバックや初期モノなどの貴重なアクセサリーやパーツも多い



エンジン分解整備からパーツの修理まで、外部に発注することなくすべてゼッピンリングョウで行う。認証工場であることに加えてメカニックが有資格者だからこそ可能な整備・調律を実現している。車両持ち込みによる修理や調律も受け付けている

Shop Data

## 絶品輸業

外環・草加ICまたは首都高・加平ICから車・バイクなら約15分。電車で来店の場合はTX六町駅まで送迎あり

東京都足立区花畑3-25-2  
TEL.03-5851-1819  
営業時間:10:00~19:00  
定休日:月曜

<http://zeppin.bike>

